

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

田中 寛

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
1/9	防犯研修	15,000		15,000
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				15,000 円

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 近森正利 様

報告者 議員名 田中 覚

研修会名 防災について 講師：一般社団法人日本防災共育協会 三重支部長 鈴木啓介

日 時 1 月 19 日 15 時 30 分～17時15分

場 所 街づくり研究会 会派室

研修目的、別紙

研修内容、別紙

協議事項、別紙

研修結果、別紙

学び、別紙

費 用 旅費：0 円 研修参加費： 15,000 円 合計： 15,000 円

6.3.28

(研修目的)

阪神淡路、東日本、熊本にとどまらず、大震災が日本列島を襲う。しかし予知の出来ないこともあり、今改めて「防災」について再考する。

(研修内容)

- 1、自助・共助・公助の認識について
- 1、避難所の現状について (研修結果)

(協議事項)

1. 自助・共助・公助の認識について
 - ・自助・近所・共助・公助がある。近所とは共助より近いコミュニティの事をいう。
 - ・命を守る事を日頃より考えておく事が必要。
 - ・備蓄品に関しては、家のみでなく、車・納屋等、数か所に分散する。
 - ・パンダグラフジャッキやウマは生き埋めになった際使用出来る。
 - ・耐震診断は個人の責任。
1. 避難所の現状について
 - ・ハザードマップを個々で確認しておく。
 - ・備蓄品や食料品は市民全員の分は用意されていない。
 - ・孤立集落になる可能性のある地区は地区で避難場所を決めておく。

(研修結果)

1. 自助・共助・公助の認識について
 - ・最も重要なのは自助。命がなければ何も出来ない。
 - ・命があれば、近所→共助→公助が可能。
 - ・現在の教育は共助のみを習っている為、改善が必要。
 - ・備蓄品、連絡手段等、日頃より個々の責任で考えておく。
 - ・パンダグラフジャッキやウマは使用方法を防災訓練時、指導するべき。
 - ・耐震診断に関して、周知徹底が必要。
1. 避難所の現状について
 - ・ハザードマップを確認し、避難所の確認をしておく。
 - ・備蓄品や食料品は基本的に各自用意し避難所へ向かう。
 - ・避難所使用方法(食料品等)を市民に周知する必要有り
 - ・様々なルールを各自が学ぶ必要有り。

(学び)

行政の守備範囲を明確にし、市民や各諸団体に性格に伝えることで、自分の命や財産の第一義的な責任を明確にすることが大切である。

領収書等添付用紙	議員名	田 中 覚
調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		
項目ごとに領収書添付 ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。 ・両面になっているものは、全面に糊付けせず裏面が確認できるように添付すること。 ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。 ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。		

領 収 証		田 中 覚 様		No.
金 額	¥ 1 5 0 0 0 -			
但 消費材料 謝金 10,000 (消費税10%含む)				
2024 年 7 月 19 日 上記正に領収いたしました				
〒510-0846 三重県四日市市大井の川町3丁目41				
株式会社 friends-a				
代表取締役 鈴木 恵 介				
TEL: 090-7678-2792				
登録番号				
税抜金額				
消費税額(%)				
税抜金額				
消費税額(%)				
GR096923				